

ワールドカップ関連情報

2014年3月6日付（W杯まであと98日）

1) アマゾンスタジアム3月9日落成記念試合

(2/26)アマゾン・スタジアムの工事は97.59%完成しており、アジス州知事は3月9日に落成式及び記念試合を行うことを発表。記念試合は、地元サッカークラブチームNacionalとパラ州Remoとの対戦で、今年から始まった北部、中西部（ゴイアス州を除外）とエスピリットサント州の前年度優勝／準優勝チーム（ただしRemoのみパラ州3位）全16チームで争うヴェルジ杯（Copa Verde）の準々決勝で、優勝チームは2015年南アメリカ杯の出場権を手にする。一般向けのチケット販売数1.3万枚にスタジアム建設関係者向け7千枚を合わせて2万人規模のイベントとなる。チケットの値段は普通席50レアル、VIP席は100レアルで、現在、チケットの偽造を防ぐために印刷業者を決定する段階である。チケットは6日朝8時にアマデウティシェイラスタジアムにて販売開始の予定だったが、3日正午からインターネットでの販売に変更された。ただし、最初の50分間で50万のアクセスが集中しサイトが閲覧できない状況に陥った。州政府は観客の安全を守るために試合の日の警備の補強を約束し、チケット間販売を防ぐために、400人の民事警官をスタジアム周辺に配置する。



Foto: Chico Batata/ Agecom – AM (13/02/2014)

2) ワールドカップ前にセントロ地区の露天商撤去

(2/26)マナウス市役所はセントロ地区の主要道（エドゥアルド・リベイロ、セッチ・デ・セテンブロ）とマトリース公園を占拠している露天商588店の撤去作業は23日までに終了した。撤去される露天商はセントロ地区のエパミノンドス通り、フロリアーノ・ペイショ通り、ミランダ・レアン通りの3か所の仮施設に移設された。仮施設での営業は市内3か所（セントロ地区に2か所、市内北部の第4バスターミナルに1か所）に建設される大衆商業センター（Centro de Comercio Popular-CCP、通称：カメロードロモ）完成までの5～6か月とされ、職業訓練講座に出席する店主には月額1千レアルの補助金が支給される。アルトゥール・ネット市長は、1989年の市長任期中、セントロ地区の露天商の強制撤去を実施し失敗した経緯を踏まえ、今回は慎重に計画している。セントロ地区には今回の対象地域以外に1千以上の露天商がある（総数2082店）。

セントロ地区から仮施設に移転された露天商が最終的に店舗を構える大衆商業センター（CCP）の建設は来週頭にも着工する。最も規模が大きいCCPはマナウス市北部の第4ターミナル前の施設で建設費は3.4千万レアル、761店舗を収容、駐車場、ウォーキングコース、スポーツコートを整備する。セントロ地区エスピリットサントCCP、ヘメージオCCPは既存の建物の改修となり費用は各1千万レアル、収容店舗数はそれぞれ326店舗、361店舗である。セントロ地区に残っている露天商もワールドカップ開催前にこれらCCPに移転する計画である。

建設中のカメロードロモ（セントロ地区）と露天商撤去後の大通りの街路樹の切り込み作業



Foto: Assessoria de Comunicação de SEMINF e SEMMAS

※記事はブラジル主要メディア及び公的機関ホームページからの公開情報を当館の責任でまとめたものです。